

# Society 5.0 実現に向けて

内閣府  
総合科学技術・イノベーション会議

久間 和生



# 「Society 5.0」の概念

Society5.0とは、**狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会**に続く、以下のような新たな経済社会をいう。

サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させることにより、

地域、年齢、性別、言語等による格差なく、多様なニーズ、潜在的なニーズにきめ細かに対応したモノやサービスを提供することで経済的発展と社会的課題の解決を両立し、

人々が快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる、**人間中心の社会**



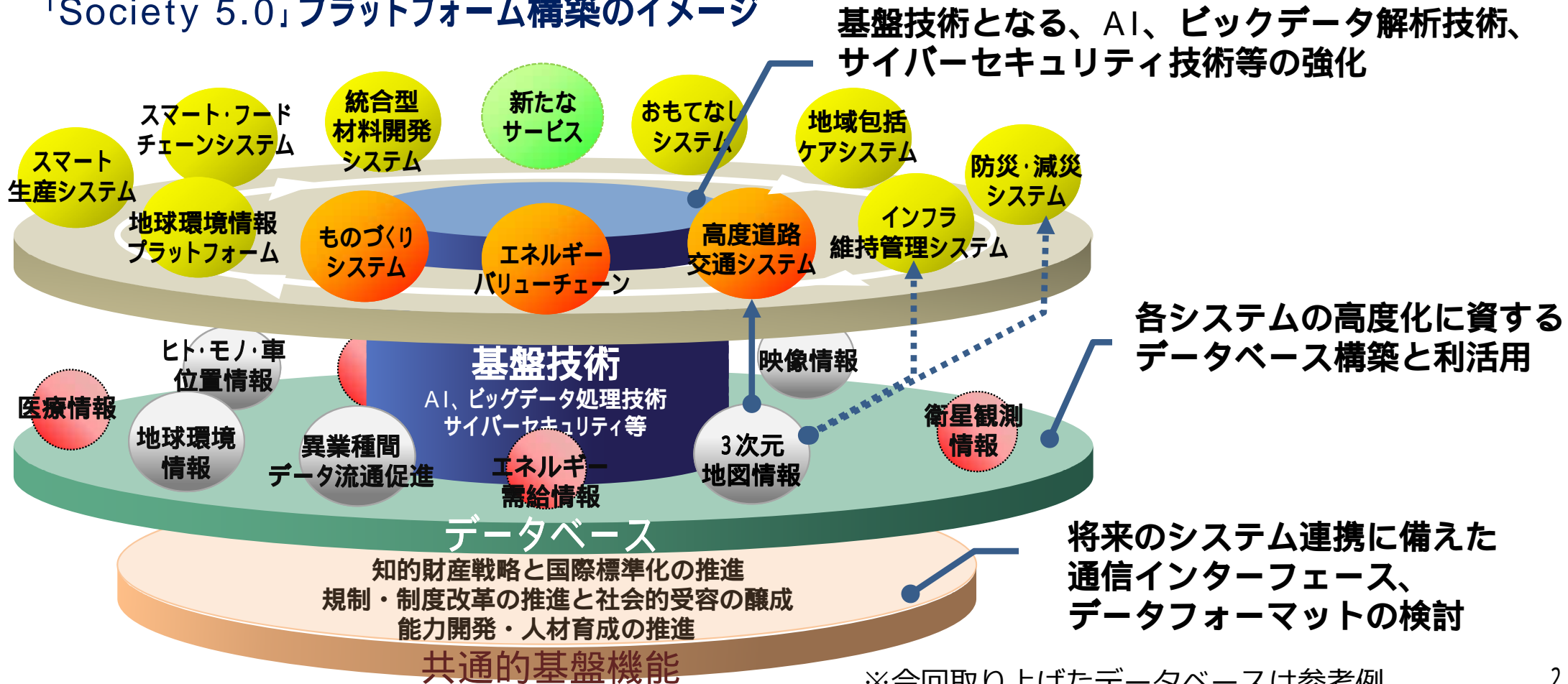
# 「Society 5.0」プラットフォーム構築

総合戦略2015で定めた11システムのうち「高度道路交通システム」「エネルギーバリューチェーンの最適化」「新たなものづくりシステム」をコアシステムとして開発。  
他システムと連携協調を図り、新たな価値を創出

新たな価値・サービス創出の基となるデータベースを整備

基盤技術（AI、ネットワーク技術、ビッグデータ解析技術等）の強化

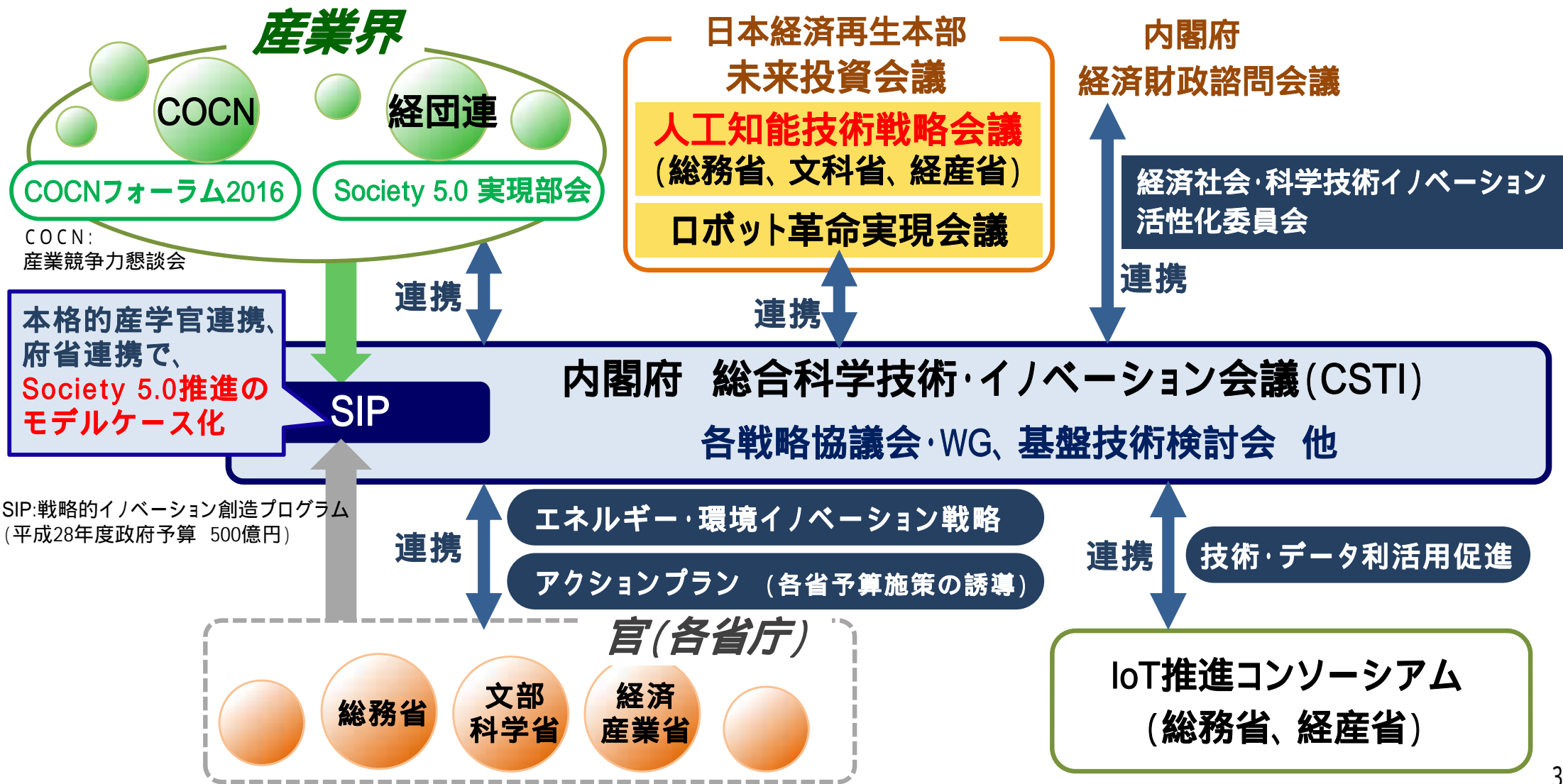
## 「Society 5.0」プラットフォーム構築のイメージ



# CSTIを中心とした「Society 5.0」実現の取り組み

CSTIが司令塔機能を発揮し、内閣府各プロジェクトや委員会等を骨格に、第4次産業革命を推進しSociety 5.0を実現するために産業界と共に推進策を具現化。

特に出口戦略が明確で産業界から高く評価されてるSIPと人工知能技術戦略会議や他省庁プロジェクト等との連携を強化し実現を加速。



# 具体例：SIPとアクションプラン対象施策の連携（個別システムの高度化）

インフラ、自動走行、エネルギーなど、SIPが存在する個別システムにおいては、SIPを先導的施策として位置付け、アクションプラン対象施策（関連省庁重点施策）をSIPと相乗効果をもたらす施策として連携させて、課題解決と社会実装を目指す

青字は自動走行システムの例



# 具体例：SIPと人工知能技術戦略会議の連携

出口戦略が明確なSIPと人工知能技術戦略会議（総務省、文部科学省、経済産業省）を連携させ、成果を連続的に社会還元して「Society 5.0」実現を推進する

- 革新的燃焼技術**  
杉山雅則 トヨタ自動車
- 革新的構造材料**  
岸輝雄 東京大学
- エネルギーキャリア**  
村木茂 東京ガス
- インフラ維持管理・更新・マネジメント技術**  
藤野陽三 横浜国立大学
- 自動走行システム**  
葛巻清吾 トヨタ自動車
- 重要インフラ等におけるサイバーセキュリティの確保**  
後藤厚宏 情報セキュリティ大学院大学

PDの強いリーダーシップのもとで着実に研究開発を推進

これまでの蓄積も活かして成果を連続的に社会還元する

- ・内燃機関の最大熱効率を50%
- ・持続的な産産学連携の構築
- ・航空機・発電機器への適応
- ・マテリアルズインテグレーションの技術開発
- ・水素関連産業での世界市場をリード
- ・インフラライフサイクルコストの最小化
- ・インフラマネジメント産業創出
- ・交通事故削減、渋滞削減、CO<sub>2</sub>排出量削減
- ・東京オリパラの安全な開催
- ・電力・通信・交通等重要インフラの安定運用

## PDのリーダーシップ

上記以外のSIP及びIMPACTとも連携を進める

## 明確な出口戦略

